

DIC 株式会社

2021年度第2四半期決算 説明資料

2021年8月



Color & Comfort

2 Q の 振 り 返 り

- 売上高は、増収。高付加価値製品である半導体、電気・電子向け材料を中心に広範な分野で出荷が伸びた。自動車向け材料についても、自動車市場への半導体不足による影響が懸念されるなか、堅調に推移。化粧品用顔料も需要の回復が見られた。生活必需品である食品包装分野でも、海外を中心に引き続き出荷が好調に推移した結果、全てのセグメントで増収
- 営業利益は、増益。原料コスト増加の影響があるなか価格対応に取り組んだことに加え、高付加価値製品を中心に出荷が伸びたことにより全てのセグメントで大幅な増益
- 純利益は、増益。6月30日に完了したドイツBASF社の顔料事業（BASF Colors & Effects 事業、以下C&E）買収に関連する一時費用が発生

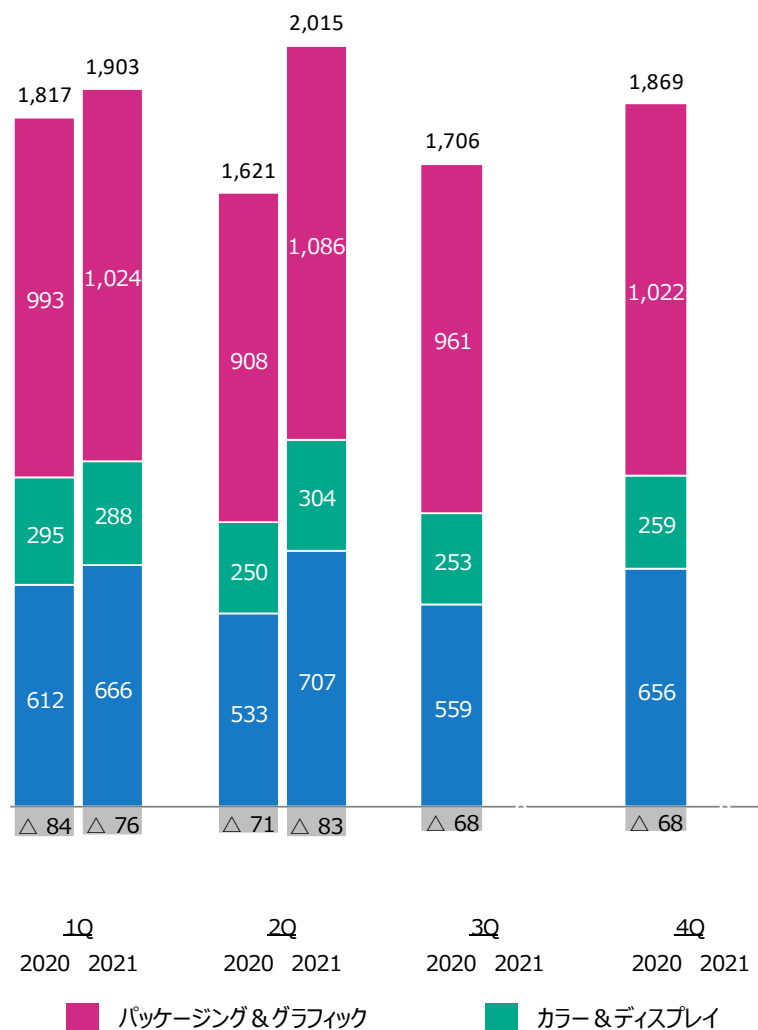
通 期 の 見 通 し

- 営業利益を480億円に上方修正。C&E買収関連の一時費用（棚卸資産ステップアップ※）や追加の原料コスト増加影響を織り込むが、下期も出荷は好調に推移
（※買収時に取得した棚卸資産を時価評価すること。出荷時に売上原価の増加となる）
- 年間配当は100円の計画で変更なし

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。
当第2四半期は、2021年1月1日から6月30日までの6ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移

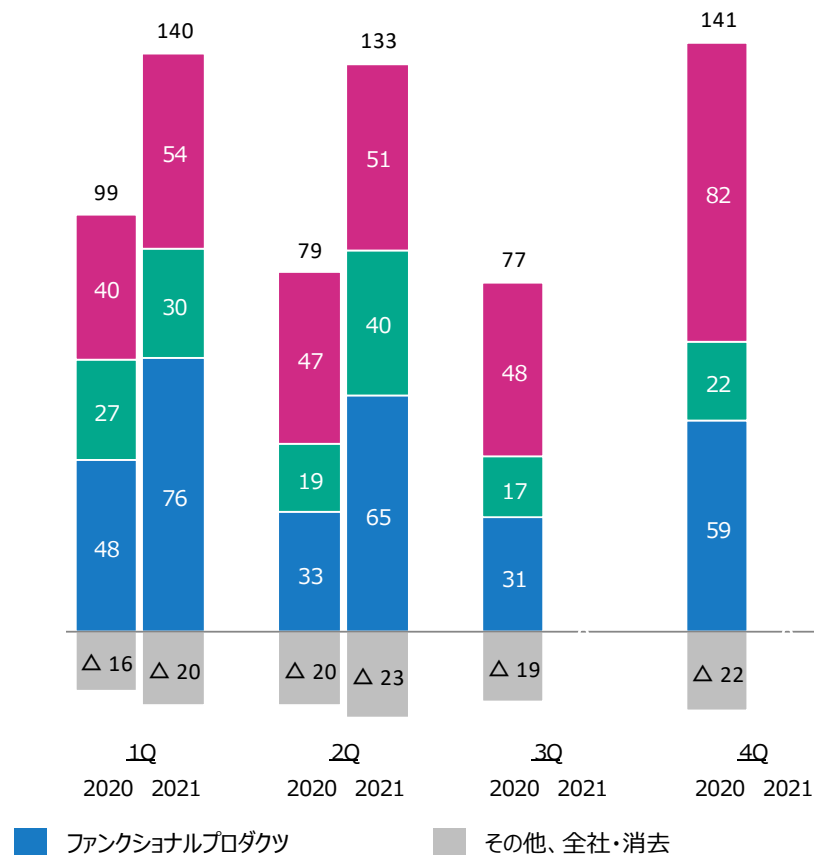
売上高 (億円)



営業利益 (億円)

通期の見通し（営業利益480億円）に対する進捗率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2021 (%)	29.1	56.9		
2020 (%)	28.4	51.0	73.1	113.3



(億円)	2020 2Q	2021 2Q	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	3,437	3,918	+ 14.0%	+ 11.4%
営業利益	178	273	+ 53.1%	+ 48.9%
営業利益率	5.2%	7.0%	—	—
経常利益	156	282	+ 81.5%	—
純利益*	103	160	+ 55.1%	—
1株当たり純利益 (円)	109.18	169.33	—	—
EBITDA**	307	382	+ 24.5%	—
平均レート	USD/円	108.03	107.68	△0.3%
	EUR/円	118.99	129.63	+ 8.9%

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

** EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

連結損益計算書

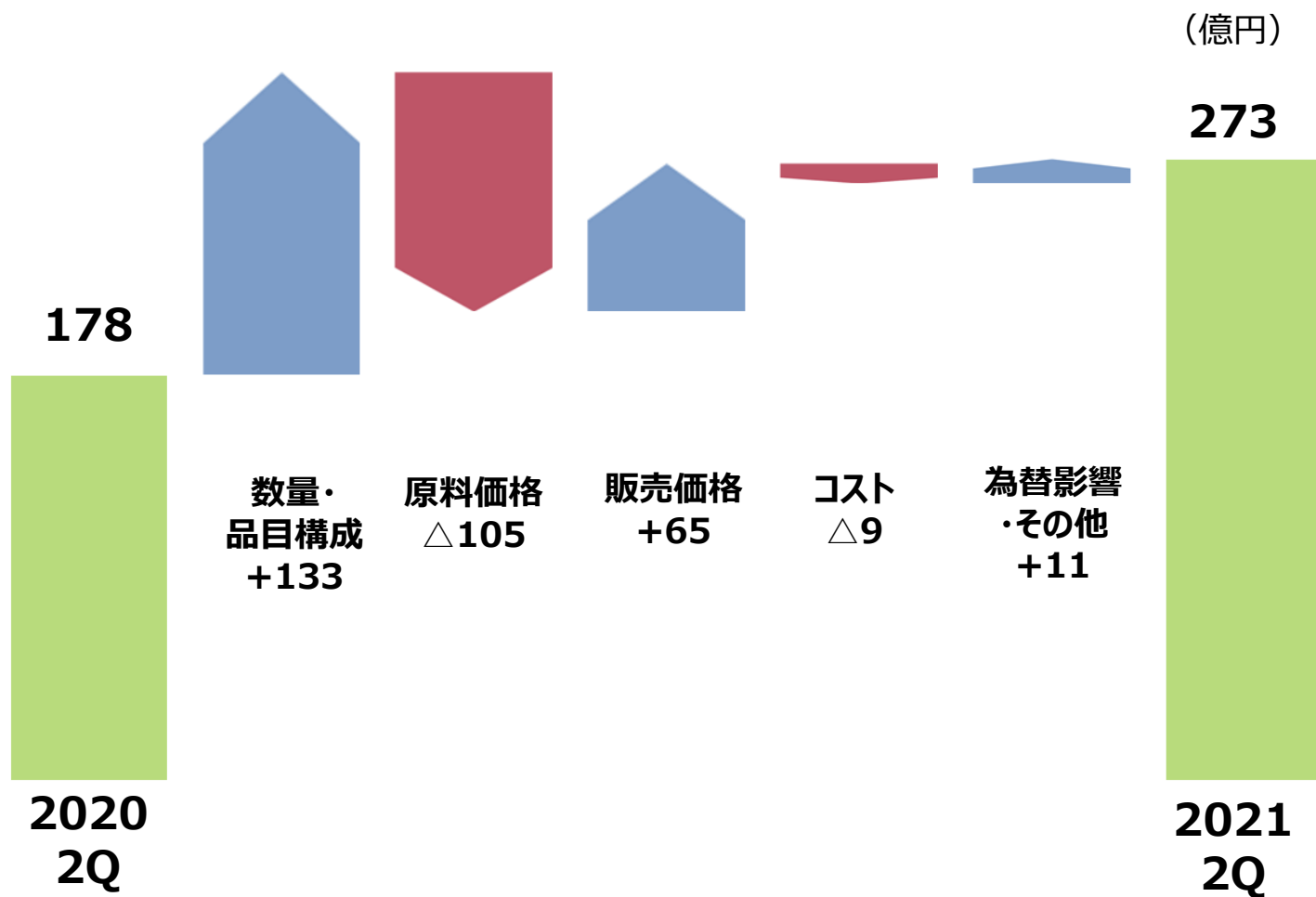
(億円)	2020 2Q	2021 2Q	増 減
売上高	3,437	3,918	480
売上原価	△ 2,663	△ 3,011	△ 349
販売費及び一般管理費	△ 597	△ 634	△ 37
営業利益	178	273	95
金融収支	△ 5	△ 4	1
持分法投資損益	△ 3	9	12
為替差損益	△ 5	5	10
その他	△ 9	0	9
経常利益	156	282	127
特別利益	31	11	△ 20
特別損失	△ 32	△ 71	△ 39
税前利益	154	222	68
法人税等	△ 39	△ 50	△ 12
四半期純利益	115	172	57
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 12	△ 12	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	160	57
平均レート USD/円	108.03	107.68	
EUR/円	118.99	129.63	

特別損益の内訳	2020 2Q	2021 2Q
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	-	8
固定資産売却益	17	3
負ののれん発生益	13	-
特別損失		
買収関連費用*	△ 19	△ 57
固定資産処分損	△ 10	△ 12
リストラ関連退職損失	△ 3	△ 2

*C&E買収関連

営業利益増減要因

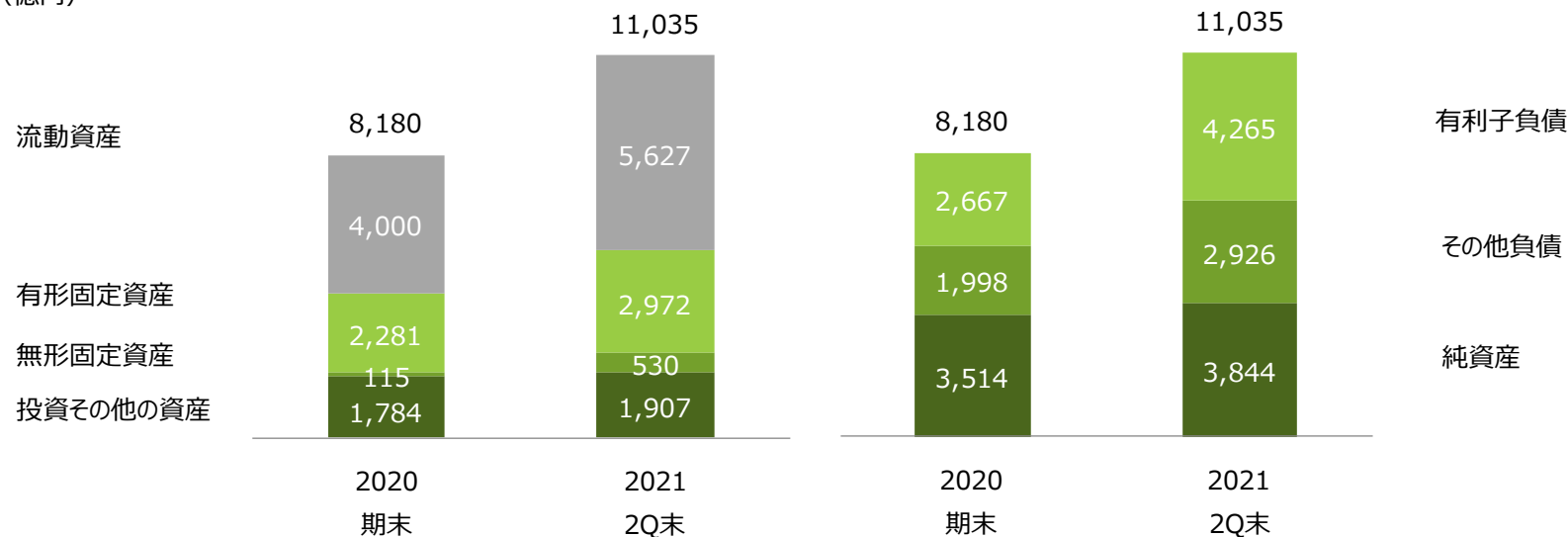
- 出荷数量の増加に加えて、高付加価値製品の好調な出荷により品目構成が改善。海外を中心に原料コストが急激に増加しているが、価格対応を進めている



財務体質

バランスシート

(億円)



財務体質

(億円)	2020 期末	2021 2Q末	増減
有利子負債	2,667	4,265	1,598
ネット有利子負債	2,219	3,291	1,073
純資産	3,514	3,844	331
D/クレシオ *	43.2%	52.6%	
ネットD/クレシオ **	38.7%	46.1%	
自己資本比率	38.9%	31.8%	
1株当たり純資産 (円)	3,364.92	3,702.83	
期末レート USD/円	103.14	110.51	

! C&E事業買収のため増加

* D/クレシオ : 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

** ネットD/クレシオ : ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

セグメント別業績

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q
パッケージング & グラフィック	1,901	2,110	209	+ 11.0%	+ 8.3%	87	105	18	+ 20.5%	+ 19.4%	4.6%	5.0%
日本	511	551	39	+ 7.7%	+ 7.7%	25	26	2	+ 6.7%	+ 6.7%	4.8%	4.8%
米州・欧州	1,159	1,282	123	+ 10.6%	+ 7.5%	46	64	18	+ 39.1%	+ 36.6%	3.9%	5.0%
アジア他	289	347	58	+ 20.0%	+ 14.5%	19	18	△ 1	△ 6.5%	△ 9.3%	6.6%	5.1%
連結調整	△ 58	△ 69	△ 11	-	-	△ 2	△ 2	△ 0	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	545	592	46	+ 8.5%	+ 6.7%	46	70	24	+ 52.2%	+ 46.5%	8.4%	11.8%
日本	135	140	5	+ 3.8%	+ 3.8%	27	34	7	+ 25.8%	+ 25.8%	20.3%	24.6%
海外	449	491	42	+ 9.5%	+ 7.0%	19	35	16	+ 86.8%	+ 71.9%	4.2%	7.2%
連結調整	△ 38	△ 40	△ 1	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	1,145	1,374	229	+ 20.0%	+ 17.5%	81	141	60	+ 74.2%	+ 70.7%	7.1%	10.3%
日本	880	978	98	+ 11.1%	+ 11.1%	50	89	38	+ 76.0%	+ 76.0%	5.7%	9.1%
海外	368	528	161	+ 43.7%	+ 36.2%	31	53	22	+ 69.7%	+ 60.7%	8.5%	10.0%
連結調整	△ 103	△ 133	△ 30	-	-	△ 1	△ 1	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 154	△ 158	△ 4	-	-	△ 36	△ 43	△ 7	-	-	-	-
連結合計	3,437	3,918	480	+ 14.0%	+ 11.4%	178	273	95	+ 53.1%	+ 48.9%	5.2%	7.0%
USD/円	108.03	107.68		△ 0.3%		108.03	107.68		△ 0.3%			
EUR/円	118.99	129.63		+ 8.9%		118.99	129.63		+ 8.9%			

パッケージング&グラフィック

売上高

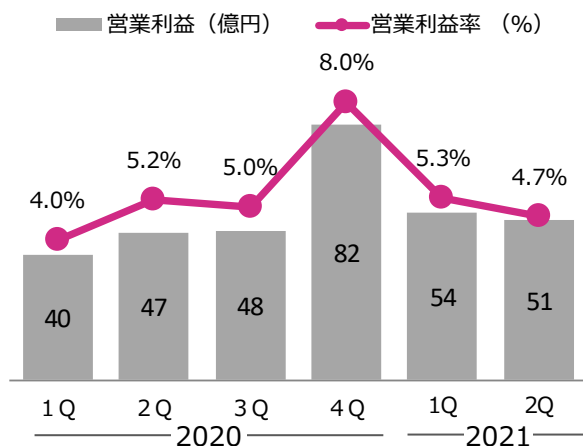
- 日本では3回目の緊急事態宣言（4月25日～）が発令されるなか、昨年同時期の1回目の発令時よりも出荷への影響は限定的となり増収
- 米州・欧州ではパッケージ用インキの出荷が堅調に推移
- アジアは、新型コロナ影響により低調だった2020年第2四半期から大幅に増収

営業利益

- 海外を中心に原料コストの増加があるものの、米州・欧州での価格対応が寄与し大幅に増益。高付加価値製品であるジェットインキの好調な出荷も利益を押し上げた

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q
パッケージング&グラフィック	1,901	2,110	209	+ 11.0%	+ 8.3%	87	105	18	+ 20.5%	+ 19.4%	4.6%	5.0%
日本	511	551	39	+ 7.7%	+ 7.7%	25	26	2	+ 6.7%	+ 6.7%	4.8%	4.8%
米州・欧州	1,159	1,282	123	+ 10.6%	+ 7.5%	46	64	18	+ 39.1%	+ 36.6%	3.9%	5.0%
アジア他	289	347	58	+ 20.0%	+ 14.5%	19	18	△ 1	△ 6.5%	△ 9.3%	6.6%	5.1%
連結調整	△ 58	△ 69	△ 11	-	-	△ 2	△ 2	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比		
パッケージ用インキ*	+ 6%	米州・欧州で堅調な出荷
出版用インキ*	+ 14%	コロナ影響が最大となっていた2020年4-6月を含む前年同期比では大幅増
ジェットインキ	+ 38%	テキスタイル用事業の買収効果に加え、野外看板・ポスターやバナーなどの産業用が昨年落ち込んだ需要の反動から出荷増
ポリスチレン	+ 30%	スーパー等での食品包装用途が好調で数量大幅増
多層フィルム	△ 4%	コロナ影響で家庭向け食品需要の高まりがあった昨年と比較すると減収

*現地通貨ベース増減比

カラー＆ディスプレイ

売上高

- 塗料・プラスチック用顔料の出荷が堅調
- カラーフィルタ用顔料や、スペシャリティ用途が中心となる光輝材は引き続き好調な出荷となった。化粧品用顔料の出荷は回復基調
- 中国ローカルメーカーとの競争激しく、TFT液晶は減収

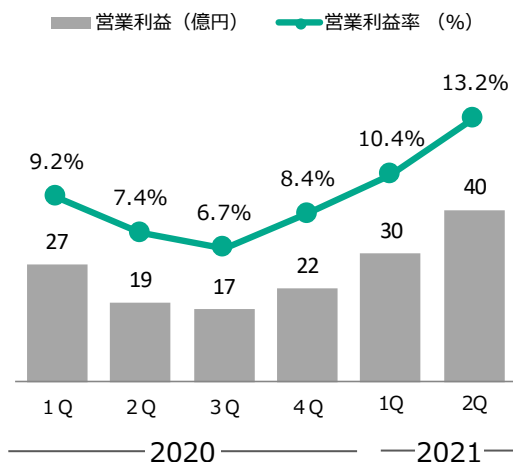
営業利益

- カラーフィルタ用顔料や光輝材などの高付加価値製品の堅調な出荷に加え、合理化効果により増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q
カラー＆ディスプレイ	545	592	46	+ 8.5%	+ 6.7%	46	70	24	+ 52.2%	+ 46.5%	8.4%	11.8%
日本	135	140	5	+ 3.8%	+ 3.8%	27	34	7	+ 25.8%	+ 25.8%	20.3%	24.6%
海外	449	491	42	+ 9.5%	+ 7.0%	19	35	16	+ 86.8%	+ 71.9%	4.2%	7.2%
連結調整	△ 38	△ 40	△ 1	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率

主要製品の売上高推移



増減比		
一般顔料	+ 4%	塗料・プラスチック用顔料の出荷が堅調に推移
機能性顔料	+ 17%	化粧品用顔料の出荷は回復傾向。カラーフィルタ用顔料、光輝材も好調な出荷が継続
液晶	△24%	中国ローカルメーカーとの競争激しく減収
ヘルスケア食品	+ 11%	米国での出荷が好調

ファンクショナルプロダクツ

売上高

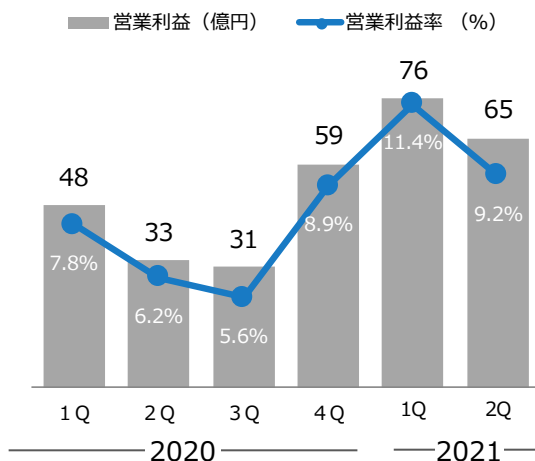
- 自動車やエレクトロニクス関連を中心に好調な出荷

営業利益

- 海外を中心に原料コスト増加の影響が出ているものの、エポキシ樹脂など高付加価値製品の好調な出荷により大幅な増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 2Q	2021 2Q
ファンクショナルプロダクツ	1,145	1,374	229	+ 20.0%	+ 17.5%	81	141	60	+ 74.2%	+ 70.7%	7.1%	10.3%
日本	880	978	98	+ 11.1%	+ 11.1%	50	89	38	+ 76.0%	+ 76.0%	5.7%	9.1%
海外	368	528	161	+ 43.7%	+ 36.2%	31	53	22	+ 69.7%	+ 60.7%	8.5%	10.0%
連結調整	△ 103	△ 133	△ 30	-	-	△ 1	△ 1	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比		
サステナブル樹脂*	+ 24%	自動車関連を中心に好調な出荷
エポキシ樹脂	+ 13%	車載関連や電子機器向けが好調
PPSコンパウンド	+ 39%	半導体不足の影響なく、好調な出荷
工業用テープ	+ 31%	スマートフォンなどのモバイル機器向けの出荷が好調
中空糸膜モジュール	+ 35%	半導体製造用途の出荷が好調

*環境対応と機能性を高めることを目指した樹脂戦略製品の総称で、水性、UV硬化型、ポリエステル、アクリル、ウレタン樹脂が含まれる

連結貸借対照表

(億円)	2020 期末	2021 2Q末	増 減
流動資産	4,000	5,627	1,627
有形固定資産	2,281	2,972	691
無形固定資産	115	530	415
投資その他の資産	1,784	1,907	123
資産合計	8,180	11,035	2,855
流動負債	1,972	4,094	2,122
固定負債	2,694	3,097	403
負債合計	4,666	7,191	2,525
株主資本	4,090	4,203	113
その他の包括利益累計額	△ 905	△ 698	207
(為替換算調整勘定)	(△ 823)	(△ 598)	(225)
非支配株主持分	329	339	11
純資産合計	3,514	3,844	331
負債純資産合計	8,180	11,035	2,855
期末レート USD/円	103.14	110.51	
自己資本比率	38.9%	31.8%	
有利子負債残高	2,667	4,265	1,598
現預金残高	449	974	525

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2020 2Q	2021 2Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	233	304	71
投資キャッシュ・フロー	△ 185	△ 1,283	△ 1,098 
財務キャッシュ・フロー	835	1,504	669
現金及び現金同等物の期末残高	1,058	960	△ 97
フリーキャッシュ・フロー	47	△ 979	△ 1,026
運転資本の増減額	57	11	△ 45
設備投資・投融資	168	1,447	1,279
減価償却費	159	166	7

 C&E事業取得のための支出

2021年度：通期の業績見通し

(億円)	2020	2021 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	7,012	8,400	+ 19.8%	+ 16.1%
営業利益	397	480	+ 21.0%	+ 15.8%
営業利益率	5.7%	5.7%	—	—
経常利益	365	475	+ 30.3%	—
純利益*	132	220	+ 66.3%	—
1株当たり純利益 (円)	139.81	232.42	—	—
EBITDA**	556	703	+ 26.4%	—
設備投資・投融資	371	1,870	+ 403.9%	
減価償却費	326	360	+ 10.5%	
平均レート	USD/円	106.37	109.00	+ 2.5%
	EUR/円	121.43	131.00	+ 7.9%
ROE	4.2%	6.6%		
D/CLレシオ ***	43.2%	50.0%		
年間配当／株 (円)	100.0	100.0		
配当性向	71.5%	43.0%		

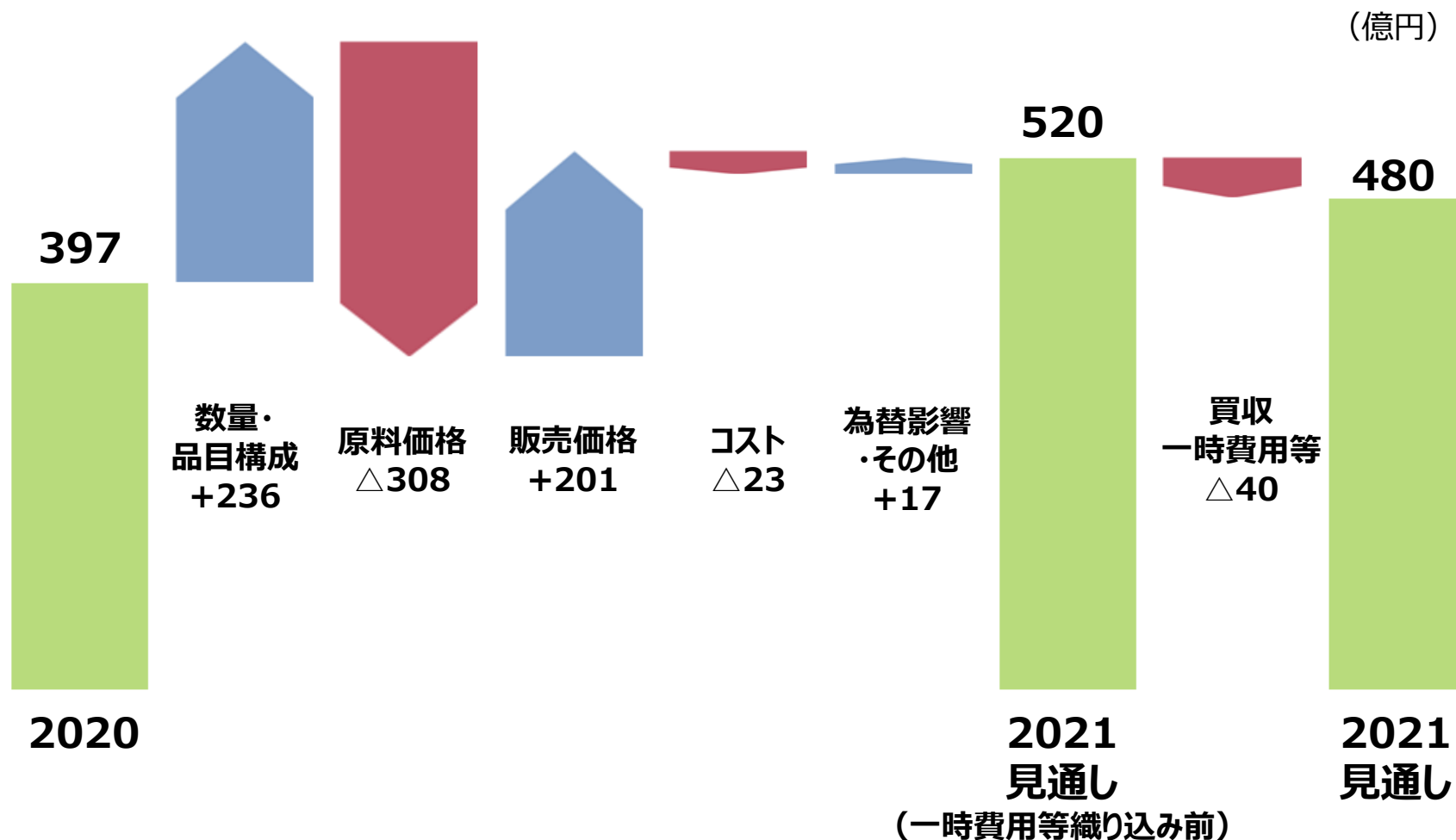
* 親会社株主に帰属する当期純利益

** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

***D/CLレシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

営業利益増減要因

- 上期の堅調な出荷が下期も継続、2021年見通しを上方修正
- C&E買収関連の一時費用（棚卸資産ステップアップによる売上原価の増加）等の発生により、上方修正幅は限定的



2021年度：通期のセグメント別業績見通し

■ C&Eの業績はカラー & ディスプレイセグメントに含まれている

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2020	2021 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021 見通し
パッケージング&グラフィック	3,884	4,305	421	+ 10.8%	+ 6.3%	218	219	1	+ 0.5%	△3.9%	5.6%	5.1%
日本	1,023	1,122	98	+ 9.6%	+ 9.6%	53	57	4	+ 7.3%	+ 7.3%	5.2%	5.1%
米州・欧州	2,354	2,623	269	+ 11.4%	+ 5.6%	122	128	6	+ 5.1%	△1.3%	5.2%	4.9%
アジア他	620	696	76	+ 12.3%	+ 5.5%	44	35	△ 10	△21.8%	△26.9%	7.1%	5.0%
連結調整	△ 114	△ 136	△ 23	-	-	△ 1	△ 1	1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,058	1,708	650	+ 61.4%	+ 58.5%	84	84	△ 0	△0.0%	△4.4%	8.0%	4.9%
日本	279	322	42	+ 15.2%	+ 15.2%	56	66	10	+ 17.2%	+ 17.2%	20.0%	20.4%
海外	852	1,460	607	+ 71.2%	+ 67.4%	28	19	△ 9	△33.5%	△44.4%	3.3%	1.3%
連結調整	△ 74	△ 73	0	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,360	2,693	333	+ 14.1%	+ 11.8%	171	261	90	+ 52.6%	+ 49.8%	7.2%	9.7%
日本	1,761	1,938	176	+ 10.0%	+ 10.1%	83	164	81	+ 96.7%	+ 96.7%	4.7%	8.5%
海外	809	1,011	202	+ 25.0%	+ 18.0%	87	97	10	+ 11.2%	+ 5.3%	10.8%	9.6%
連結調整	△ 210	△ 256	△ 46	-	-	1	0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 290	△ 306	△ 16	-	-	△ 76	△ 84	△ 8	-	-	-	-
連結合計	7,012	8,400	1,388	+ 19.8%	+ 16.1%	397	480	83	+ 21.0%	+ 15.8%	5.7%	5.7%
USD/円	106.37	109.00		+ 2.5%		106.37	109.00		+ 2.5%			
EUR/円	121.43	131.00		+ 7.9%		121.43	131.00		+ 7.9%			

2021年度：通期のセグメント別業績見通し補足

カラー & ディスプレイ 通期業績見通し内訳（億円）

	売上高				営業利益			
	2020	2021 見通し	増減	増減比	2020	2021 見通し	増減	増減比
カラー & ディスプレイ	1,058	1,708	650	+61.4%	84	84	△0	△0.0%
既存事業	1,132	1,181	50	-	84	124	40	-
C&E	-	600	600	-	-	5	5	-
一時費用	-	-	-	-	-	△45	△45	-
連結調整	△74	△73	0	-	0	0	△0	-

- 下期からの6か月分のC&E業績を通期見通しのカラー & ディスプレイセグメントに織り込んでいる
- C&Eの下期売上高は600億円、のれん等の償却を含む営業利益は5億円の見込み。DICとの統合時のブラックアウト期間に備えた前倒し需要が上期に発生したこと、顔料事業は季節要因により上期に売上と利益が偏る傾向があることから下期の営業利益が抑えられており、本格的な利益貢献は2022年度からを計画している
- 一時費用として棚卸資産ステップアップによる売上原価の増加が45億円発生。2021年度中に費用化完了予定のため、来期以降は発生しない

BASF社顔料事業の取得についてーC&Eの概要

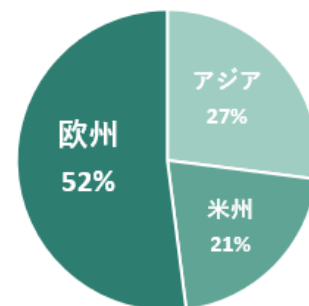
■ BASF社顔料事業（C&E）取得を6月30日に完了

- 買収価格（調整前）は1,010百万ユーロ（約1,289億円）※1ユーロ＝127.58円で換算（上期末時点では価格調整が完了しておらず、最終的な買収価格は確定していない）
- 買収資金は借入により調達。劣後ローン（600億円）の実施により2021年度末D/Cレシオは50%を計画
- 本買収により顔料業界におけるグローバルリーディングカンパニーとしての地位を確立
- 高付加価値製品の拡充とオペレーションの最適化によりValue Transformationの加速を実現

■ C&Eの概要

- 高級顔料、光輝材（化粧品用パール顔料）および特殊無機顔料において世界有数の事業規模
- 従業員数 約2,600人
- 製造設備 11か所
- R&Dラボ 4か所
- 欧州を中心に事業を展開し、世界120か国以上に5,000社以上の顧客を持つ

C&E地域別売上比率（2020年参考値）



BASF社顔料事業の取得についてー統合後の姿

世界16か国にグローバルな供給体制を構築



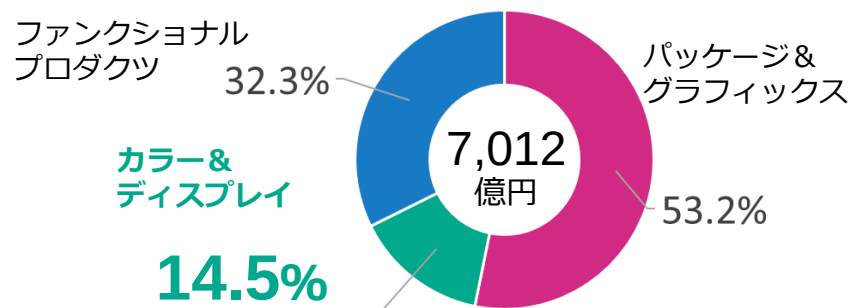
(2021年6月30日現在) ●DIC生産拠点 ●C&E生産拠点

両社の保有技術・IPの融合による比類ない開発力

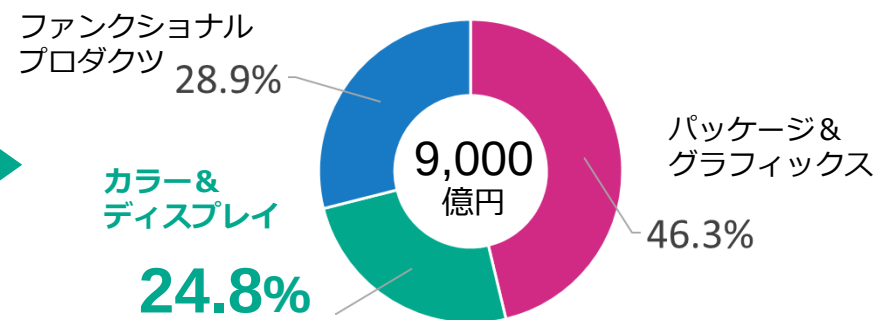


カラー&ディスプレイ事業は全社を支える柱へ成長

2020年度事業セグメント別売上高構成比



統合後 事業セグメント別売上高構成比イメージ



※C&Eは、2021年下期推定を2倍して年間に換算した上で比率を算出

BASF社顔料事業の取得についてー統合後の姿

高付加価値製品をポートフォリオに取り込み、収益性の向上を実現

- ◆ 機能性顔料では光輝材（パール顔料）の獲得により、成長牽引分野である化粧品用やスペシャリティ用途（農業用など）の製品ラインナップが大幅に拡充されることとなる



- ◆ 一般顔料では自動車塗料、工業塗料、建築塗料などの塗料用が増加。特に自動車塗料用は製品ラインナップの拡充、製品開発力の向上により当社のプレゼンスは大幅に向上



顔料事業の用途別ポートフォリオ

塗料用の規模が拡大しコア用途に。化粧品・スペシャリティ等の高付加価値分野も充実し、Value Transformationが加速

用途別事業規模別・収益性イメージ

C&Eの素材力を活かした
製品開発



収益性

技術シナジーを追求した製品の展開

ディスプレイ

化粧品

スペシャリティ

デジタル

製品群の拡充と新用途展開



規模の拡大による事業の効率性の向上

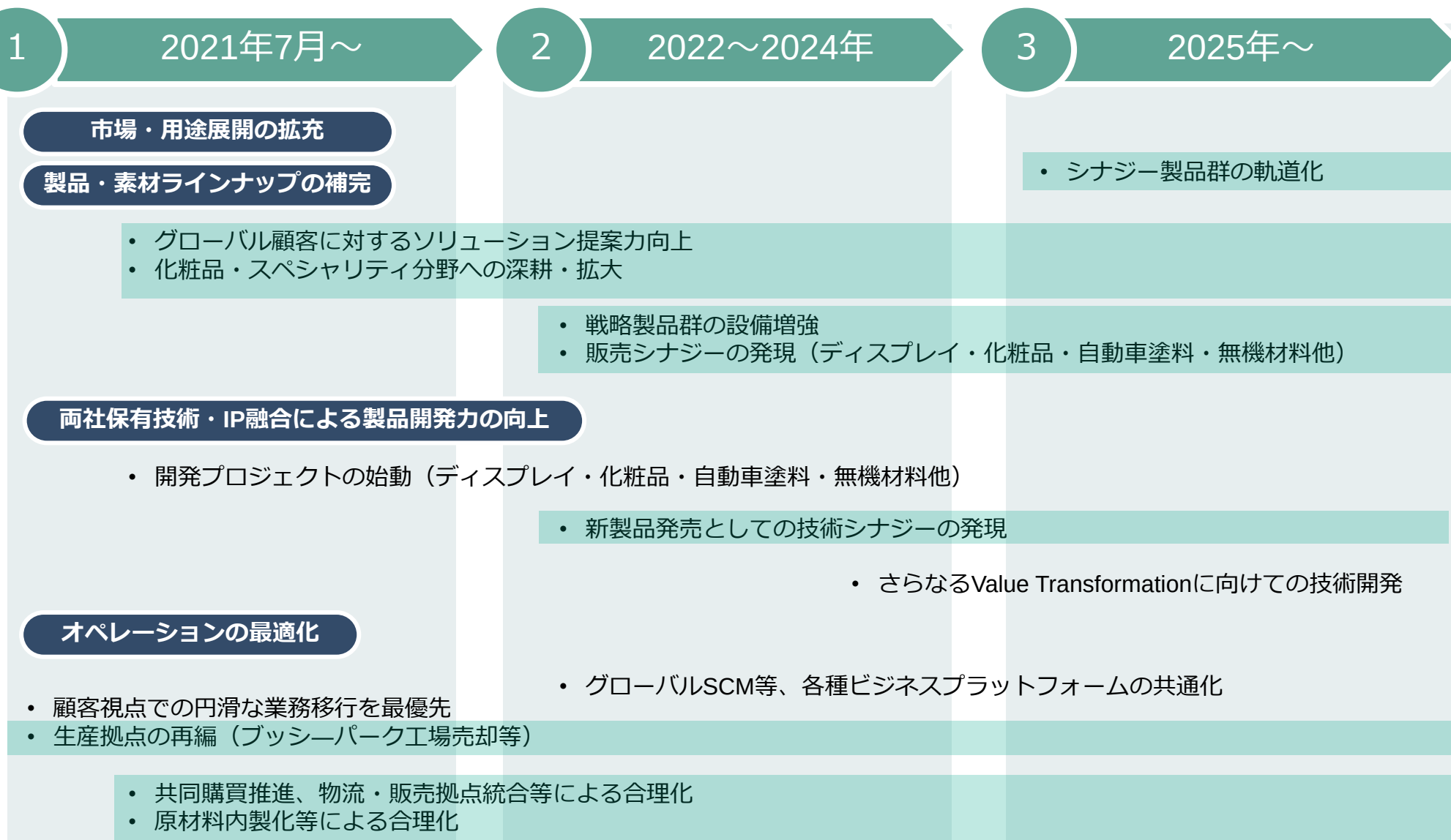
プラスチック

塗料

インキ

事業規模

事業統合による期待シナジーと効果 – Value Transformation ロードマップ



主なトピックス（2021年4月～6月）

4月

欧州地域の環境規制に対応したコバルトフリーの塗料・印刷インキ向け乾燥促進剤を開発

4月

ハイブリッド型無機系抗ウイルス・抗菌剤「WILMISH™」の販売を開始

4月

イスラエルのバイオベンチャー企業 バクサ・テクノロジーズ社へ出資

5月

耐アルコール性・耐油性に優れた表刷りバイオマスグラビアインキ「グロッサ B M」および
高機能な抗菌ニスの販売を開始
—コロナ禍以降の生活様式に対応、パッケージ材料のサステナブル化にも貢献—

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2021/>



主なトピックス（2021年4月～6月）

5月

廃棄軟包装フィルムのマテリアルリサイクル拡大に向けて大手製パンメーカーと協業開始
－脱インキ技術を導入した軟包材の高度な再資源化によりプラスチック資源の循環社会実現を目指す－

6月

太陽インキ製造と共同開発した「高周波対応配線形成用新シードフィルム」が
第53回日化協技術特別賞を受賞
－5G通信における高周波伝送損失を低減できる技術として高く評価された－

6月

2050年カーボンネットゼロの実現に向け、CO₂排出量の長期削減目標を更新
－社内カーボンプライス導入などにより、2030年度までにCO₂排出量を50%削減－

6月

「DICレポート2021 ハイライト版」（統合報告書）を発行

6月

独BASF社のグローバル顔料事業（BASF Colors and Effects）の買収完了

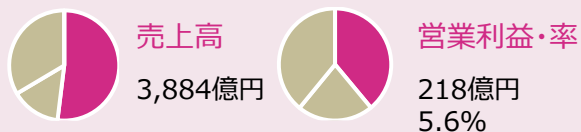
ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2021/>



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



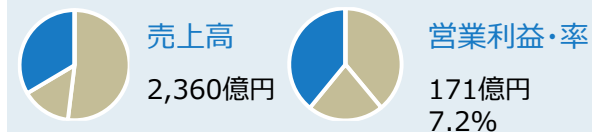
包装材料を通じて社会や暮らしに
「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



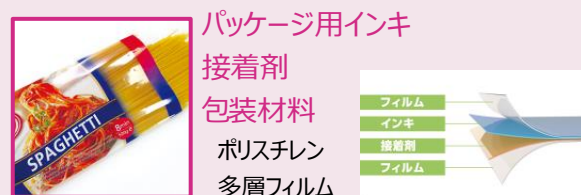
表示材料を通じて社会や暮らしに
「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクト

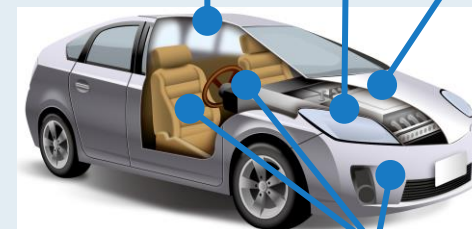
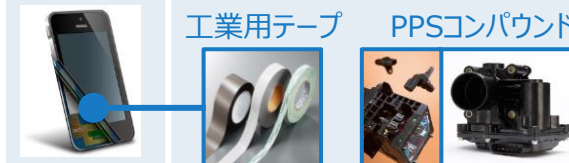
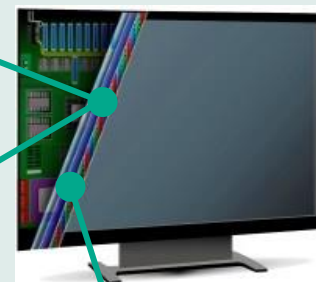
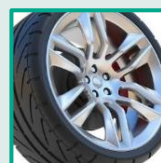
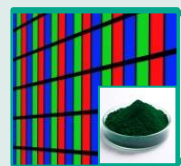


機能材料を通じて社会や暮らしに
「快適」を提供する

主要製品

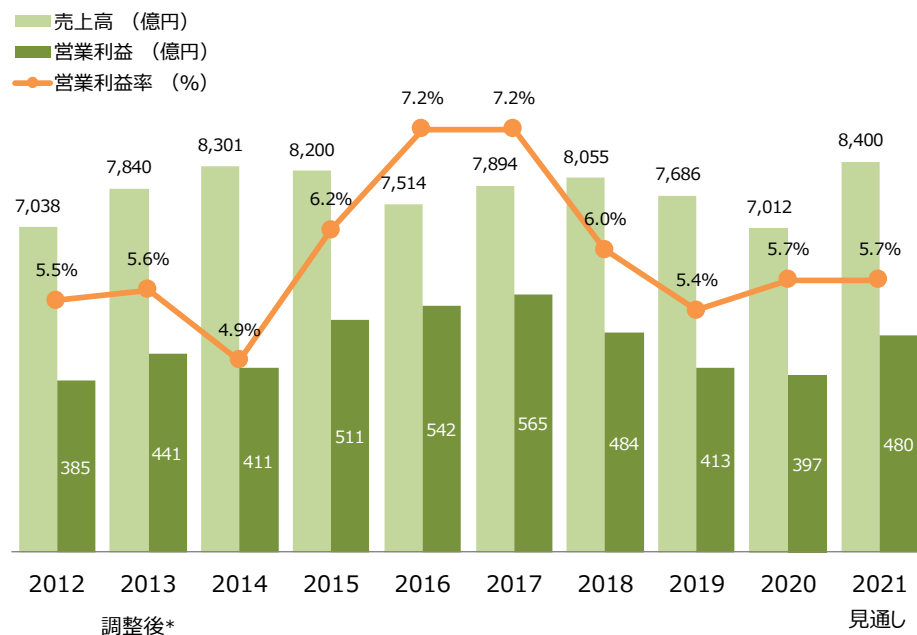


機能性顔料



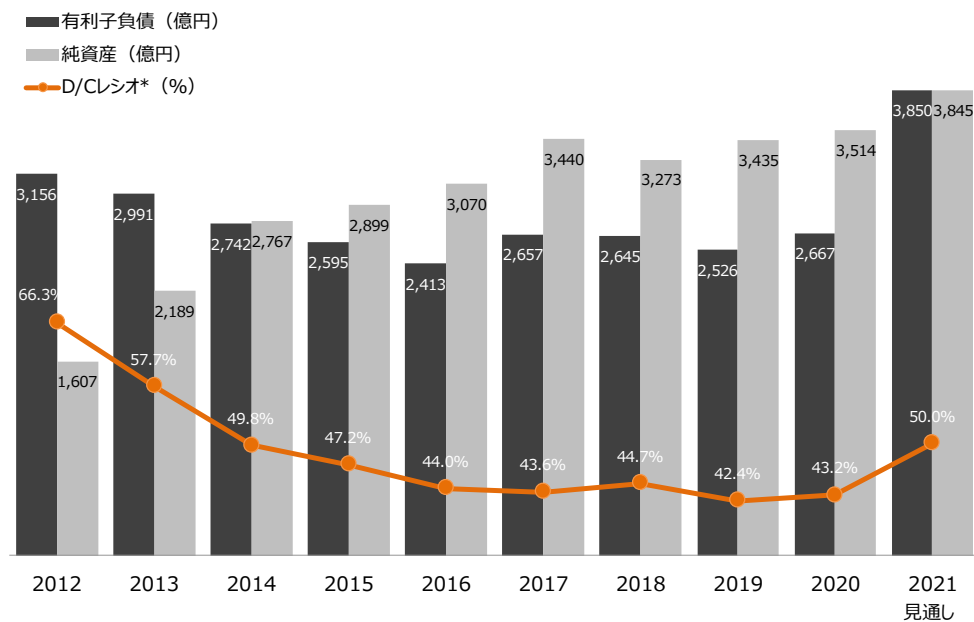
業績の推移（参考）

業績



*決算期変更の影響を調整しています

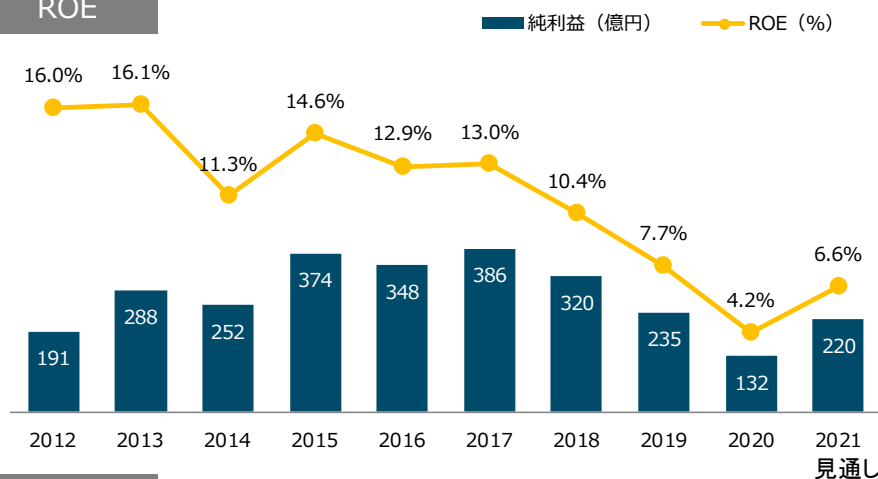
財務体質



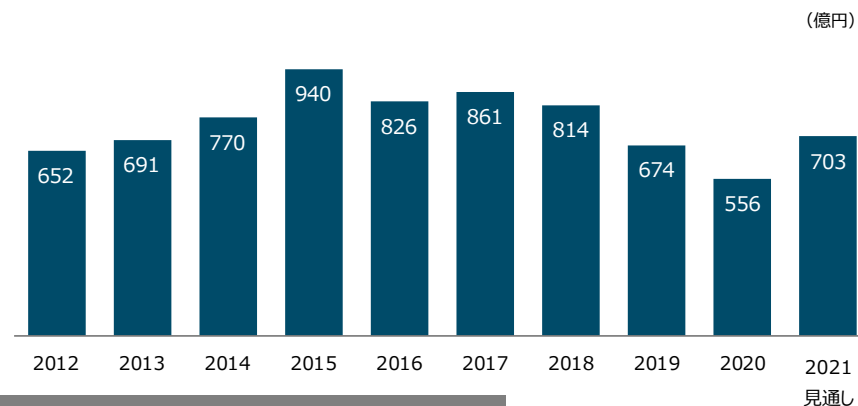
*D/CLレシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

業績の推移（参考）

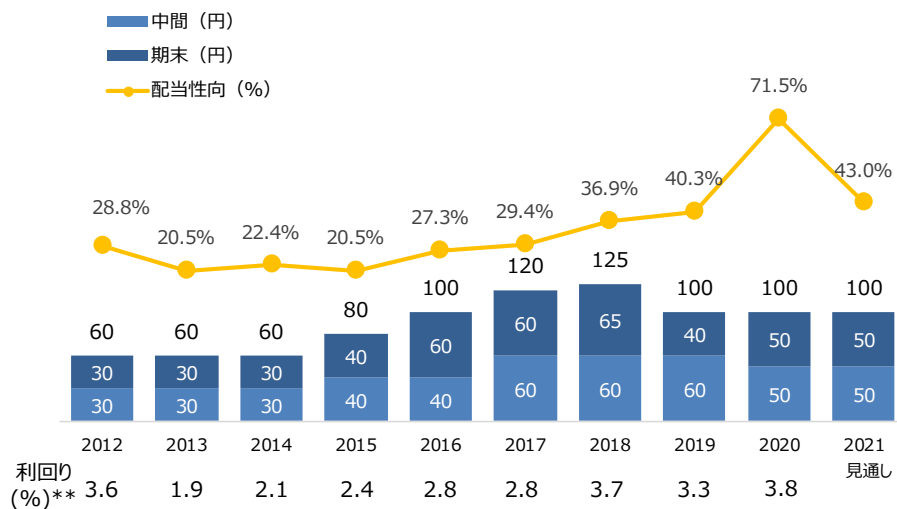
ROE



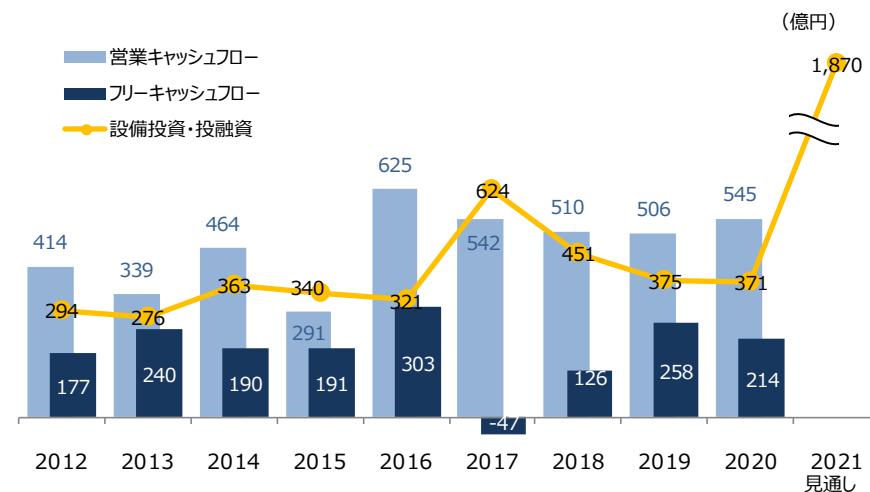
EBITDA***



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

*** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

ESGに関する社外評価（参考）

DICが組み入れられているESG投資インデックス



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index



FTSE Blossom
Japan

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

**S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数**



Color & Comfort

＜予想に関する注意事項＞

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。